



活躍するOB・OG

陸上自衛隊、第一空挺団として活躍するお二方。



特科大隊

辰馬 健志郎さん

四街道市立四街道中学校出身
平成二十五年度卒業生

植草 羽さん

市原市八幡東中学校出身
令和三年度卒業生

陸上自衛隊 第一空挺団とは

第一空挺団とは日本唯一の落下傘部隊であり、陸上自衛隊の精強部隊として、侵略・大規模震災などの国家の危機に際してもっとも困難かつ重要な場面に、迅速に空中機動し落下傘等によって降着し身を持ってあらゆる任務を果たすことが求められている部隊です。今回は本校卒業生で第一空挺団に現役で所属しているお二人にお話を聞いていきたいと思っております。

第一空挺団PR動画



エール——気高く、永遠に——

校長 石井航太郎



同窓会の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対し、多大なるご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、今年度は久しぶりに海外での修学旅行を実施することができました。初めての訪問先となるシンガポール・マレーシアでは、現地の学校との交流やホームビジット、ユニバーサル・スタジオ・シンガポール(USS)の訪問など、充実したプログラムを通じて貴重な経験を積むことができました。

また、ICT教育のさらなる充実を図るため、3号館の2階・3階を全面改修しました。2階には、大型電子黒板を5面設置した最先端ICT教室「CCルーム(チャレンジ&チェンジルーム)」を新設し、3階には図書室と主体的な学びを融合させた「ラーニングコモンズ」を整備しました。これらの施設は、これからの時代に必要な学びの場として、幅広く活用されています。

同窓生の皆様におかれましては、変化の激しい社会の中でも、母校で培った「自己確立・自他共楽」の精神と「チャレンジ&チェンジ」の姿勢を活かし、ますますご活躍されることを心よりお祈り申し上げます。

同窓会会長 櫻井一貴



同窓会会員の皆様、日頃より本活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。また自然災害などで厳しい状況におられる皆さまに心からお見舞い申し上げます。

さてどのくらいの同窓生が毎年開催されている総会のことをご存じでしょうか。本会活動を進めるうえで、総会も大切な行事になります。母校の様子を知ることや懐かしい友人に会える機会になるのではないのでしょうか。ご都合のつく方は桜林高等学校HPを確認し、一度足を運んでいただくと幸いです。

そして、これからの生活様式に対応した「新しい同窓会活動」の環境を整え、皆さまが安全に、安心して情報共有でき、交流できるスタイルを模索していく所存でございます。

最後になりましたが、皆さまのますますのご健勝を心からお祈りいたします。そして、同窓会活動への変わらぬご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。



日本唯一の落下傘部隊、第一空挺団で活躍するお二方。

三曹の辰馬さん、士長の植草さんにインタビューしました。

今の仕事に就こうと思ったきっかけは何ですか？

植草さん：高校三年生の時に進路で迷っていた際に自分のクラスの担任の先生から家庭の事情も踏まえた上で自衛隊の道を勧められたのがきっかけです。その言葉に感化され、人の役に立ちたいと思い、自衛隊に入隊することを決めました。

辰馬さん：私は、当時お世話になった先生から自衛隊になることを勧められていました。卒業してから初めは専門学校に進学したのですが、在学中に自衛隊を勧められたことが忘れられず、改めて自衛隊を目指すことを決めました。



仕事で一番誇りに思っていること、嬉しいと感じることは何ですか？

辰馬さん：災害が起こった時の災害派遣や、その他各種支援などで私たち第一空挺団がその現場において一番必要とされていることは仕事をしていて誇りに思っています。
植草さん：私は、嬉しかったことになりましたが、初めての降下訓練を怪我無く終われたことが今までで一番嬉しかったですね。

降下訓練とはどんな訓練なのですか？

辰馬さん：場所は様々ですが習志野演習場でやる場合などは、高さ三百メートルから降下します。時速で言うると二百キロくらいですね。降下している時間は一分程度ですが、夜間でも行ったり、風の影響もあったりで、多くの訓練の中でも一番怪我の多い訓練だと言われています。

一日のスケジュールを教えてください

辰馬さん：基本的に勤務時間は午前八時から午後五時となっていますが、夜間の勤務や訓練もありますし、災害時などは私用の携帯に電話が来て緊急で勤務したりする場合があります。
植草さん：不規則な勤務ではありますが、休日がないわけではありません。長期休業もありますし、普通に休みの日もあります。私は休みの時は実家が近いので家族と過ごしたり友人と遊びに行ったりしています。



高校生活でやっておいてよかったことはありますか？

植草さん：私はやはり部活動ですね。陸上部に所属していたのですが、部活のために学校に行っていたのが良かったですね。勉強面でも補習があると放課後部活動に出れる時間が少なくなるので、そうならないために日々の勉強も頑張りました。

辰馬さん：私も部活はやっていて良かったなと思います。私は野球部に所属していましたが、人として大切なことを多く学ぶことが出来た貴重な時間であったので、やって良かったなと感じました。

高校生活でやっておけばよかったと思うことは何ですか？

植草さん：復習をしっかりとやっておくべきだったと思いました。テストのための勉強しかしてこなかったのが自衛隊に入った後で苦労することが非常に多かったです。
辰馬さん：私も勉強はやっておけばよかったと思います。自衛隊でも筆記の試験はあるので、勉強の癖がついていないため苦労しました。

在校生に向けてアドバイスをお願いします

植草さん：二つあります。一つ目は是非とも何か熱中できるものを探してください。私の場合は高校生活の時にはそれが部活でしたが、何でも良いです。趣味でも部活でも勉強で

も何でも良いです。これからの人生でそれが大きな支えになっていきます。二つ目は高校生活をとにかく楽しんで下さい。行きたくないと思う日もあるかもしれないけど、そういう時は何か一つ小さな目標を立ててそれをモチベーションに学校に行ってください。三年間は思っているよりもあっという間なので楽しんでほしいと思っています。

辰馬さん：勉強や部活を頑張るのは当たり前のことですが、その中で思いやりや感謝の気持ちを絶対に忘れないでください。高校生活でその気持ちに身につかないまま社会に出てしまうと本当に大変なことになってしまうので、何をやるにしても感謝の気持ちだけは忘れないで下さい。

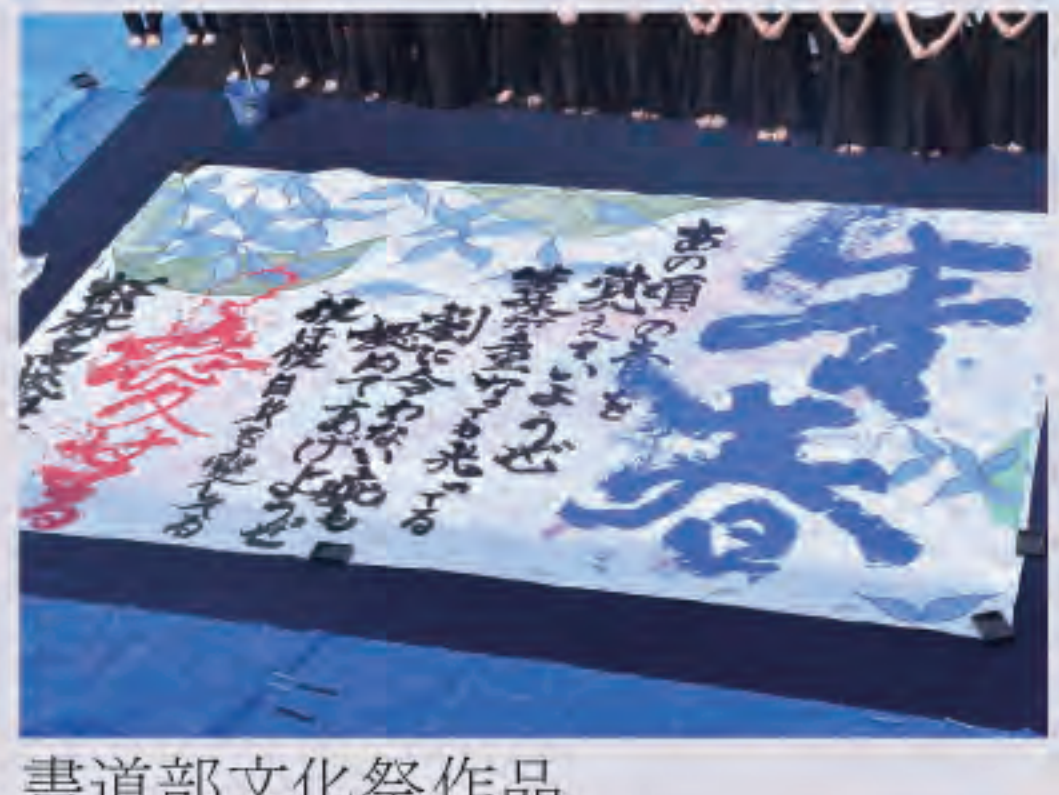


部活動 活動紹介

同窓会の皆様のご支援もあり、令和六年度の部活動において「少林寺拳法部」は全国選抜大会、「写真部」「書道部」は全国高等学校総合文化祭への出場を決めました。
少林寺拳法部は今年の三月に岡山県にて、写真部、書道部は来年度香川県でそれぞれ大会が行われます。短い期間ではありますが、より良い成績が残せるように精進してまいります。
今後とも、同窓会の皆様の本校部活動へのご理解とご協力をお願いします。



写真部活動風景



書道部文化祭作品